

リクルート各種サービス Web CM 「リズムネタリレー」全5篇 小島 よしおさん、チョコレートプラネット、藤崎マーケット、 狩野 英孝さん、永野さんら 人気“リズムネタ芸人”が大集合！ クセになるリズムネタ5連発で、暮らしの中にいいリズムをお届け 2026年7月1日（水）から公開

<インタビュー>ネタとの出会いは？／この夏やりたいことは？

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牛田 圭一）は、家づくりの無料相談サービス『スーモカウンター』、ヘアサロン・リラク&ビューティーサロン検索・予約サービス『ホットペッパービューティー』、旅行情報サイト『じゃらん』、お店の決済サービス『Air ペイ』、中古車情報メディア『カーセンサー』のプロモーションとして、小島 よしおさん、チョコレートプラネット（長田 庄平さん、松尾 駿さん）、藤崎マーケット（田崎 佑一さん、トキさん）、狩野 英孝さん、永野さんら、人気の“リズムネタ芸人”5組を起用した Web CM（全5篇）を制作し、「リズムネタリレー」と題して7月1日（水）から公開します。また、本 Web CM の公開に伴い「リズムネタリレー」特設 Web サイトも7月1日（水）から開設します。

「リズムネタリレー」特設 Web サイト <https://www.recruit.co.jp/special/rhythm-relay/>



暮らしは、さまざまなリズムの積み重ねでできており、住まいや美容、旅行、買い物、そしてカーライフなど、リクルートが提供する各種サービスも、そんな暮らしのリズムの中にあると言えます。そこで本企画では、一度聞くと頭から離れない“リズムネタ”で強烈な存在感を放つ人気“リズムネタ芸人”5組とコラボレーションし、暮らしのリズムを楽しく表現。一度見たら思わず口ずさみたくなる5篇の Web CM を制作しました。Web CM 「小島 よしお×スーモカウンター」篇 リズムネタリレー、「チョコレートプラネット×ホットペッパービューティー」篇 リズムネタリレー、「藤崎マーケット×じゃらん」篇 リズムネタリレー、「狩野 英孝×Air ペイ」篇 リズムネタリレー、「永野×カーセンサー」篇 リズムネタリレー（各15秒、30秒）は、各篇それぞれにお楽しみいただけることはもちろん、「リズムネタリレー」として5篇を続けて見ることで、異なる“リズムネタ”と各種サービスの組み合わせを発見できることも見どころとなっています。人気の“リズムネタ芸人”が勢ぞろいし、まるでお祭りのような高揚感が味わえる「リズムネタリレー」に、ぜひご注目ください。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

■Web CM 概要

- ・ **タイトル** 「小島 よしお×スーモカウンター」篇 リズムネタリレー
「チョコレートプラネット×ホットペッパービューティー」篇 リズムネタリレー
「藤崎マーケット×じゃらん」篇 リズムネタリレー
「狩野 英孝×Air ペイ」篇 リズムネタリレー
「永野×カーセンサー」篇 リズムネタリレー
- ・ **出演** 小島 よしお／チョコレートプラネット（長田 庄平、松尾 駿）／
藤崎マーケット（田崎 佑一、トキ）／狩野 英孝／永野
- ・ **公開日時** 2026年7月1日（水）
- ・ **動画公開 URL** <https://youtu.be/wtk40qRJU4g>（「小島 よしお×スーモカウンター」篇 リズムネタリレー）
<https://youtu.be/ARv-J62JqG8>（「チョコレートプラネット×ホットペッパービューティー」
篇 リズムネタリレー）
<https://youtu.be/y0rqJRNP6s4>（「藤崎マーケット×じゃらん」篇 リズムネタリレー）
<https://youtu.be/Tk-rg6F0h3s>（「狩野 英孝×Air ペイ」篇 リズムネタリレー）
<https://youtu.be/OEO3D6QcuFg>（「永野×カーセンサー」篇 リズムネタリレー）
- ・ **特設サイト** 「リズムネタリレー」特設サイト <https://www.recruit.co.jp/special/rhythm-relay/>

■Web CM のコンセプトと見どころ

「リズムネタリレー」として制作した5篇のWeb CMは、リズムネタそのものの面白さをストレートにお届けするため、『スーモカウンター』『ホットペッパービューティー』『じゃらん』『Air ペイ』『カーセンサー』という各サービスのブランドカラーを生かしたシンプルな演出になっています。人気“リズムネタ芸人”が勢ぞろいするお祭りのような高揚感をお楽しみください。

「小島 よしお×スーモカウンター」篇 リズムネタリレー

「おっぱっぴー」や「そんなの関係ねえ」というフレーズで子どもたちから絶大な支持を受けている小島 よしおさんのリズムネタを活用したムービーで、お客様家族と小島さんとの共演ダンスも見どころです。思わずマねしたくなる振り付けで、家づくりの相談先としての『スーモカウンター』を楽しく印象付けています。

「チョコレートプラネット×ホットペッパービューティー」篇 リズムネタリレー

『ホットペッパービューティー』というサービス名を、チョコレートプラネットの代表リズムネタ“TT 兄弟”で表現。「おトクな美容室、予約したいな〜」とささやく女性に TT 兄弟が小気味よいリズムに乗せ、『ホットペッパービューティー』ならお得で簡単に美容室を予約できることを楽しく分かりやすく紹介します。

「藤崎マーケット×じゃらん」篇 リズムネタリレー

テンポのいいリズムだけでなく、藤崎マーケットの代表作「ララライ体操」の独特なアクションや田崎さん&トキさんの表情も含めて、一度見たら忘れられないクセになるムービーに仕上がっています。何度も見たくならない中毒性と、思わず旅行へ出かけたくなるワクワク感が両立した作品です。

「狩野 英孝×Air ペイ」篇 リズムネタリレー

「果たしてこれはリズムネタなのか…」と思わずツッコミたくなる一作です。狩野 英孝さんならではの本格的な歌唱力、そしてキャッチーな歌詞とのギャップが魅力となっており、広い意味でのリズムネタや歌ネタとして、強い印象を残すムービーとしてお楽しみいただけます。

「永野×カーセンサー」篇 リズムネタリレー

永野さんならではのキレのいいアクションと、耳に残る力強い叫び声が大きな見どころです。「ゴッホより、

普通に、ラッセンが好き」という永野さんの代表作でもあるリズムネタと、『カーセンサー』というサービス名が一体となり、一度見たら忘れられないインパクトのあるムービーに仕上がっています。

■撮影エピソード

—全力で挑んだ撮影にまさかのハプニングも！？

5組全員が"おなじみ"のリズムネタを全力で披露しました。

最初に撮影に臨んだ永野さんは、序盤からいつものように全力で撮影に挑みましたが、気合が入り過ぎたのか、ネタ冒頭の下を向くポーズで勢い余ってイヤホンモニターが外れてしまい、すぐにカットがかかるハプニングが発生。スタジオは一気に笑いに包まれ、和やかな雰囲気での撮影スタートとなりました。

小島 よしおさんは、「おっぱっぴー」のポーズに対し、監督から「調子いいですね」と声がかかり「1万回以上やってますからね」と誇らしげな様子でした。「スーモのカウンターへ」というセリフを連呼しながら「そんなの関係ねえ」の動きを激しく繰り返すあまり、衣装のジャケットのボタンが外れてしまうほほえましい場面も。カメラが回っていない時もハイテンションで臨んでいただき、終始笑いの絶えない現場となりました。

—いつものネタとは一味違う演出に奮闘・・・

順調に撮影を進めたチョコレートプラネットのふたり。松尾さんは、「TT 兄弟」のネタにちなんで、「オティックでカンティン予約は（お得で簡単予約は）」という難しいセリフに挑戦しました。最初は苦戦するも、何度も練習を重ね、最後には完璧な発音でOK テイクを獲得しました。

藤崎マーケットのふたりはスタジオに入るなり「(スタジオに) めちゃくちゃ人おる！」とテンションが上がり、息がぴったりなネタを披露。近寄ったり離れたリスマホを持ったりと、何種類ものバリエーションでネタを続け息が切れそうになるも、軽快な振り付けとはじける笑顔で撮影を終えられました。トキさんは達成感に満ちた表情で「お疲れさまでした！」と監督と固い握手を交わしていました。

5組の中で最も演技力が試された狩野さん。直前に収録した独特な歌い方に合わせてギターを弾きながら雰囲気たっぷりの演技を進めます。カットがかかると同時に現場から拍手が起こる場面もあり、照れながら「ありがとうございます」と応えます。最後のカットは涙を流しながら感傷的に「Air ペイ～」と歌い上げる難しい演技でしたが、切なく空を見上げる表情も見事な狩野さんでした。

小島 よしおさん

「小島 よしお×スーモカウンター」篇 リズムネタリレー

——新 CM の撮影を終えた感想をお聞かせください。

小島さん 「『スーモカウンター』っていうのが体の中に染み込みました。もう何度も言わせてもらったので、本当にいろんな感情、喜怒哀楽の『スーモカウンター』っていう…1年分の『スーモカウンター』を撮取しましたね。そのくらい、『スーモカウンター』っていう言葉を体の中に入れて、そして同時に出したっていう、いい勉強の仕方みたいな感じで『スーモカウンター』と一緒に学ばせてもらいました。CM を見てもらえれば分かると思うので、それぐらいすごく『スーモカウンター』だったので見てください、ぜひ！」

——本企画はリクルートの「まだ、ここにいる、出会い。」がコンセプトになっているのですが、ご自身のネタとの出会いについてお聞かせください。

小島さん 「『そんなの関係ねえ』っていうネタに出会ったのが2006年なんです。DJをやっている先輩がいてお手伝いで行った時、リハーサル中マイクを持たせてくれて、『(ラップみたいに)韻踏んでみる』みたいな感じでやったら全然うまくいかなくて…。その時に『そんなの関係ねえ！』って出てきたんですよ。うまく韻を踏めなかったけど『そんなの関係ねえ！』って、あれが本当に最大の出会いでしたね。本当にいきなり降ってきたっていうか、いきなり出てきたんです。その前の韻を踏んでる部分がウケてしまってたら出会えてなかったの、失敗というか“下手こいた”後ってチャンスだなんて思います。そこに出会いがあるんじゃないか。うまくいってない時こそ出会いの予兆だと…イイ感じのこと言ってますね(笑)。でもうまくいってない時に諦めないで、前を向いた先にきっといい出会いがあるんじゃないかなって思います。それが2007年で、いろんな人にやってもらえたりマネをしてもらえたり。時には禁じられたこともありましたが、世界中でいろんな人がやってくれたことで、ボク自身の世界もすごく広がりましたし、そこからの出会いがめっちゃめっちゃありましたね」

——人生が変わった「リズムネタ」に出会ったことを、どのように考えていますか？

小島さん 「リズムネタって本当に残るんですよ。ボクのライブを見に来てくれるお父さんお母さんが『実は小学校の時に見てました』って言ってくれるんです。考えたら19年くらい前なんです。19年前でも覚えていてくれるっていうのは、このリズムネタっていうのは皆の記憶に刻まれるものだと思うんです。見てくれた人の心に刻まれるんじゃないかなって」

——ムービー公開時期に関連し、「この夏、やってみたいこと」をお聞かせください。

小島さん 「『スーモカウンター』に行くことですね(笑)。この間、ウチの子が『スーモカウンター』にあったタッチパネルにすごいハマって。その時は次の予定があったので『また今度行こうね』みたいな感じだったんです。けっこうありますよね『スーモカウンター』は都内に(笑)。制覇…『スーモカウンター』巡り(笑)。スタンプラリーとかやってないですよ？小さいお子さんが遊べる施設に『スーモカウンター』があるイメージなので、ボクは今2歳になる子どもがいるので、『スーモカウンター』は、さっき言った通り撮取してるので、たぶん引き合うと思うんですよ。いろんな『スーモカウンター』に出会ってみたいですね、この夏」

■出演者インタビュー②

チョコレートプラネット（長田 庄平さん、松尾 駿さん）

「チョコレートプラネット×ホットペッパービューティー」篇 リズムネタリレー

———新CMの撮影を終えた感想をお聞かせください。

長田さん 「ティーかく、ティーのティーかっティーです（笑）」

松尾さん 「まだまだいろんな色のティーがあるんだなと思いました」

———本企画はリクルートの「まだ、ここにいる、出会い。」がコンセプトになっているのですが、ご自身のネタとの出会いについてお聞かせください。

長田さん 「リズムネタを作るって企画があって最初に考えてたネタがあったんですけど、練習してて『これでいこう』ってなったけど、急に『ティティティティ…』っていうのが降ってきて『Tを探す“TT兄弟”』みたいないいなと思って。本当に10分くらいでできた感じのネタですね」

松尾さん 「いつも相方は10分って言うんですけど…その前にやろうって言ったネタをやって『オッケー、じゃあこれでいこう』って。『いや待って、ティティティティにする』って。10分じゃないです、3分くらいでした。」

———人生が変わった「リズムネタ」に出会ったことを、どのように考えていますか？

長田さん 「やったことなかったです。初めてですよ。新参者のリズムネタ芸人というキャラなんで、レジェンドとやれるっていうのはうれしいですね。オレら、一番うまく使えてるんじゃないかな。一応、世界も行かせていただいたので。これは“TT兄弟”やってなかったら行けてなかったと思うんで。これはもう本当に“ありがティ”」

———ムービー公開時期に関連し、「この夏、やってみたいこと」をお聞かせください。

松尾さん 「ボクらはまだまだヤンチャなので、“虫ティリ”とか」

長田さん 「“ティニス”とかやったことないんで」

松尾さん 「“ティニス”もいいしさ、“ティーブルティニス”もいいじゃん」

長田さん 「千葉の“ティティ山（館山）”とか絶対いいと思うんだよね。あと県で“ティっティリ（鳥取）”も行きたい」

松尾さん 「“ティち木（栃木）県”も」

長田さん 「ボクの地元である“京ティ（京都）”も本当に来てほしいっていうのもありますし」

松尾さん 「そうだね。地元でいったらオレは…箱根。ちょっと“ノーティ”でした（笑）」

長田さん 「つながらない（笑）」

松尾さん 「旅行に行きたい、“ティレジャー”したいですね。“ティラベル”か（笑）」

■出演者インタビュー③

藤崎マーケット（田崎 佑一さん、トキさん）

「藤崎マーケット×じゃらん」篇 リズムネタリレー

———新 CM の撮影を終えた感想をお聞かせください。

トキさん 「久しぶりに『ララライ体操』を踊ったんで、こんなに体力なくなってるかってちょっとビックリしました。昔はけっこう踊れましたけど、3 回くらいやった時に『これ今日ヤバいかも』って、ずっと思っていましたね。最後まで無事終わることができてよかったです」

田崎さん 「スタジオに入った時にスタッフの皆さん全員で迎え入れられる現場って初めてやったんで、なんか『空気づくりがすごいな』と思って。あの監督さんは何者なんですか？（笑）最初ね『うわ、変な人や！』と思ったんですけど、めちゃくちゃ仕事できる“空気づくりのプロ”というか、ちょっと芸人のエッセンス感じる、絶対すごい人やって、30 分ぐらい経ってから思って（笑）」

———「リズムネタ」をやっていたからこそ、出会えた方々がたくさんいらっしゃるということですね。

トキさん 「ボクらのほかにもいろんなリズムネタの方のリストを見た時、各時代のヒーローたちが揃っているなど。小島 よしおさんとか、狩野 英孝さんとかボくらほとんど同期で出た時期も一緒やったので。よく皆としゃべりながら出たのでボくらが見たいくらいでした」

田崎さん 「涙が出るブッキングですよ。本当にありがとうございます」

トキさん 「リズムネタ芸人が減少しつつあるこの世の中…この 7 年くらい流行語大賞芸人がいないんで、リズムネタの芸人が絶滅しかけてるんですよ。だからこのタイミングってすごくありがたいことです。今後もどんどんリズムネタ芸人が出ていただきたいという感じです」

———ムービー公開時期に関連し、「この夏、やってみたいこと」をお聞かせください。

トキさん 「ボク、筋トレちょっとしとかなあかんって今日思いましたね。撮った映像を見せてもらったんですけど、当時の 0.8 倍ぐらいキレが悪くなってまして。ちょっとキレが悪くなってるとって思いましたね。監督さんにも『もうちょっと腕伸ばしてください』みたいな。リズムで初めて注意されたぞと思って（笑）。腕の角度とか言われたことなかったんで」

田崎さん 「ボクは 5 歳と 1 歳の子がいるんで、小さいうちしか遊んでくれないっていうじゃないですか。部活とか始めたらもう家族でどっか行ったりできひんっていうんで、今のうちに行きたいなっていうのはありますね。プールとか海とかそんな感じですかね」

狩野 英孝さん

「狩野 英孝×Air ペイ」篇 リズムネタリレー

———新 CM の撮影を終えた感想をお聞かせください。

狩野さん 「最初に歌のレコーディングから始まったんですけど、皆のアイデアが足し算のようになっていて。時間が決まっていなかったら延々とアレンジが増えていったのかな。それくらい盛り上がりました。MV 撮ってんじゃないかって勘違いがあるくらい、酔わせていただきました（笑）」

———本企画はリクルートの「まだ、ここにいる、出会い。」がコンセプトになっているのですが、ご自身のネタとの出会いについてお聞かせください。

狩野さん 「実は高校生くらいからずっとやってまして。当時『翼をください』って曲を、『この大空に～♪』とか『翼を広げ～♪』みたいな感じで歌ってたんですよ。別に面白いと思ってなくて。カッコいいと思って同級生に聞かせたりして、今考えれば『あれ面白いんだ?』みたいな。もともと『カッコいい』から入ってるんで…ズレてるんでしょうね、世間と（笑）。
音楽との出会いでいったら、青春時代を過ごした 90 年代は、CD が一番売れていた時代で、毎日のように各局で音楽番組をやっていて、それを好きで見ました。自分もやってみたいと思ってバンドを組んで、初めて人前で歌う喜びを知ったのが高校生の頃でした」

———人生が変わった「リズムネタ」に出会ったことを、どのように考えていますか？

狩野さん 「ちょっと思うのは…時代なのかなって。ボクが芸人始めた時は、リズムネタとか音楽ネタやってる方って、ライブに 10 組出るとなったら 1 組もないぐらい。それがリズム系ネタ、音楽ネタを若い子たちがマネして踊ったり歌ってみたり、口パクやってみたり。そういうのに時代がマッチしたって感じがしますね。だからテンポいいとかリズムとか音楽とかっていうのは、どんどん新しい芸人さんも増えてくるのかなと思います。その中で皆がマネしたいとか歌ってみたいとか、そういうふうに見えるリズム、音楽を作るのがポイントになってくるのかなって思います。今回この 5 組、ある意味『リズムネタの紅白歌合戦』だと思ってますんで、どのリズムネタにも負けないぐらい、ボクの撮った作品を皆に見ていただきたいと思ってます」

———ムービー公開時期に関連し、「この夏、やってみたいこと」をお聞かせください。

狩野さん 「プライベートで軽自動車を改造してキャンピングカーにしたんですよ。家でテレビ見てたりとか昔からインドアだったんですけど、なんか外に出るきっかけをつくろうと思って、キャンピングカーを安く作ったんですよ。それでアウトドアとかやってみようと思って。ただ、ああしようこしようって最終的に出来上がったキャンピングカーが『キャンプ場とか山とか海でゲームできるキャンピングカー』になってしまって（笑）。モニター付けて Wi-Fi 飛ばして。だからキャンプ行ってボク、ゲームしてます（笑）。そういうキャンピングカー作ったんで、家にいるのと全く変わらないんですけど（笑）。今年の夏は山でゲーム配信やってみたいと思います」

永野さん

「永野×カーセンサー」篇 リズムネタリレー

———新CMの撮影を終えた感想をお聞かせください。

永野さん 「あっという間でしたね、楽しかったです。監督の空気に引っ張られて、イラってしてる人がひとりもないという。機嫌のいい連中が集まったという、いいCMができたと思います（笑）」

———本企画はリクルートの「まだ、ここにいる、出会い。」がコンセプトになっているのですが、ご自身のネタとの出会いについてお聞かせください。

永野さん 「もう13年前ぐらいにできたネタなんですけど…。関西であった『歌ネタ選手権』のために全く売れなかった自分が『音を作ってほしい』と当時のマネージャーにお願いしたんですけど、そしてたけこうできる人で。時間が5分くらい空いたからってこのトゥカトゥカという音を作ってくれて、それに乗せたネタだったんです。偶発的に生まれたネタなんですけど、それによって世に出させていただきましたし、このネタがなかったらここに座ってないと思います。『5分の時間に1曲作ってくれてありがとう！』っていうことなんですけど、そのマネージャーは残念ながら辞めました。すみません、なんかバッドエンドで。それまではけこうマニアックなコントをずっとやってたんですけど、もう歌ネタをやることもちょっと抵抗があるぐらいキャリアを積むと、いらないプライドが出てきたんです。当時のマネージャーがコトコトコトコってリズムで自分も笑っちゃって。それにさせてもらった、みたいな。だから本当にそのマネージャーとの縁は大事ですし、そこからの皆さんとの縁がこの歌ネタなので、クスッと笑ってくれるというか、それって売れない頃にはなかったから…。『笑われるより笑わせろ』とかいう言葉もあるじゃないですか。自分にはちょっと当てはまらなくて、笑われるぐらいがちょうどいいのかなと思ってますね。それを初めてできたネタだと思います」

———人生が変わった「リズムネタ」に出会ったことを、どのように考えていますか？

永野さん 「リズムネタって、もしかしたら軽んじて見られがちかもしれないですけど、皆笑顔になるじゃないですか。だからボクは素晴らしいと思いますし、皆さんずっとやってるじゃないですか。自分も含めてですけど…いいことだな、というか。さっきの答えじゃないですけど『笑わせるより笑われろ』みたいなスタンスがあるんじゃないかと。ボクは素晴らしいと思います、リズムネタ」

———ムービー公開時期に関連し、「この夏、やってみたいこと」をお聞かせください。

永野さん 「この夏、やってみたいことは映画づくりです。昨年、自主制作で映画を作ったんですよ。それが（当時は）箸にも棒にもかからなかったんですけど今年なんと、ブラジルで賞を取りまして。夏、皆さんがアウトドアやってる間に次回作を動き出そうかなと。皆が夏休みやってる間に。だから夏、周りの芸人たちはキャンプやったりアウトドアやってるんですけど…ちょっとボク、アーティストックなんで。ちょっと第2作をいよいよ始めようかな、と。すみません、なんか芸人の答えじゃなくて。ちょっと生意気な、アーティストックな答えですすみません（笑）」



小島 よしお

1980年11月、沖縄県生まれ。2001年より早稲田大学在学中の5人によるコントグループ「WAGE」のメンバーとして活躍。

2006年3月にWAGE活動休止後、ピン芸人として活動開始。

2007年5月、YouTubeにて小島 よしおの動画が週間再生ランキング世界5位になり、一躍注目を浴びる。また、2020年4月に開設したYouTubeの「おっぱっぴー小学校」が話題を呼び、全国の子供たちから絶大な支持を得る。



チョコレートプラネット (長田 庄平、松尾 駿)

(長田) 1980年1月28日生まれ、(松尾) 1982年8月18日生まれ

2014年「キングオブコント」準優勝、2015年「NHK 新人お笑い大賞」受賞、2018年「キングオブコント」3位。TT兄弟をはじめとするキャラクターやものまねで一躍人気を獲得し、YouTubeチャンネル「チョコレートプラネットチャンネル」は登録者数249万人を超える(26年7月現在)。「新しいカギ」(CX)、「THE 神業チャレンジ」(TBS)にレギュラー出演するなど各方面で活躍中。



藤崎マーケット (田崎 佑一、トキ)

(田崎) 1981年1月29日生まれ、(トキ) 1984年12月6日生まれ

2005年10月に結成。翌年に「M-1 グランプリ 2006」の準決勝に進出。

「ラララライ体操」のネタで話題となり、「爆笑レッドカーペット」(フジテレビ系)をはじめとするさまざまなネタ番組で活躍する。2009年に「第30回ABC お笑い新人グランプリ」で優秀新人賞を獲得。2012年に「第10回MBS 漫才アワード」、2014年に「第3回ytv 漫才新人賞」、2017年に「歌ネタ王決定戦」で優勝。



狩野 英孝

狩野 英孝(カノ エイコウ) お笑い芸人。1982年2月22日生まれ、宮城県出身。

日本映画学校(現・日本映画大学)を卒業後、「ラーメン・つけ麺・僕、イケメン」などのフレーズを駆使した一人コントの芸人としてデビュー。

お笑い芸人以外にもテレビ朝日『ロンドンハーツ』にて、シンガーソングライター(50TA名義)やYouTubeでも幅広く活躍する傍ら、実家の神社で神職にも従事している。



永野

1974年9月2日生まれ

1995年に活動をスタートし、シュールな芸風から「孤高のカルト芸人」の異名も持つが「ゴッホより、普通に、ラッセンが好き」のネタで大ブレイクを果たす。

映画への造詣も深く、2025年には念願の初監督作品「MAD MASK(マッドマスク)」が公開された。

■リクルートのサービスについて

『スーモカウンター』 <https://www.suumocounter.jp/>

注文住宅の建築と新築マンションの購入を検討中の方に向けた無料の相談サービスです。大きな買い物であるにもかかわらず分かりにくいことが多い住宅購入に関して、アドバイザーが相談に乗り、ご予算やご要望からお客様それぞれに合った建築会社や新築マンションを複数ご提案します。打ち合わせの調整やお断り代行なども行い、ご契約までサポートいたします。

『ホットペッパービューティー』 <https://beauty.hotpepper.jp>

『ホットペッパービューティー』は、ヘアサロン・リラク&ビューティーサロンの検索・予約サービスです。多様な切り口の特集、行きたい日時での検索、ヘア・ネイルカタログ、口コミ、お得なクーポン、サロンスタッフなどから、自分の行きたいサロンを検索できます。ウェブサイト・アプリから24時間いつでも・どこでも予約でき、予約後に来店するとポイントがたまり、次回の利用時などに使えます。ジャンルは、ヘア、リラクゼーション、エステ、ネイル、アイビューティーまで幅広く提供しています。30分ごとの空き状況が確認できるため自分の予定に合わせた予約ができ、エリア検索機能で通いやすいサロンを見つけることができます。

『じゃらん』 <https://www.jalan.net/>

「じゃらん net」は、国内最大級の旅行予約サイトです。全国の宿・ホテルのなかから、自分好みの宿・ホテル、オリジナルプランを予約できます。旬のイチオシ特集をはじめ、旅行者の口コミ情報を基にした「宿ランキング」や、宿泊と交通（飛行機・新幹線・特急）を自由に組み合わせて予約できる「じゃらんバック」、レジャー体験を予約できる「遊び・体験予約」、観光スポットのコメントを投稿できる「観光ガイド」など、コンテンツも充実。無料の会員登録をするとポイントが還元されたり、通常価格よりお得な会員限定プランを利用できるのも特徴です。

『Air ペイ』 <https://airregi.jp/payment/>

『Air ペイ』は、カード・電子マネー・QR・ポイントも使えるお店の決済サービスです。iPad または iPhone と専用カードリーダー1台があれば、全81種（※1）の決済手段に対応できます。2015年10月にサービス提供を開始し、導入率 No.1（※2）のお店の決済サービスです。加盟店舗数は拡大を続けており、美容、飲食、小売、サービスなどの幅広い業種に加え、地方自治体と包括連携協定を結ぶなど、全国各地で導入が進んでいます。

※1：自社調べ（2026年6月時点）

※2：調査主体：株式会社リクルート／調査委託先：株式会社マクロミル／調査期間：2025年12月11日～2025年12月26日／調査対象者：勤務先にモバイル型決済端末（mPOS）が導入されている、18～69歳の男女1,455名／調査手法：インターネット調査

『カーセンサー』 <https://www.carsensor.net/>

『カーセンサー』はリクルートが発行する中古車情報メディアで、ユーザーのクルマ探しから来店、購入までをサポートします。1984年に雑誌で創刊。現在は、毎月20日に発売する月刊誌『カーセンサー』、そして、中古車の掲載台数が約53万台（2026年6月時点）を超える日本最大級の中古車情報メディア『カーセンサー-net』を展開しています。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>